

奥多摩の魚たち

川面を眺めたり、釣りをすると出会うかもしれない魚たち。なんという名前か知っていますか？
 ※奥多摩には他にも多くの魚が住んでいます。当てはまらない場合は図鑑で調べてみよう！
 ※稚魚は特徴が現れにくく、識別が困難なことがあります。

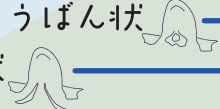
体の形が

川底でじっとするずんぐり形
 泳ぐのに適した流線形



お腹の下のヒレが

きゅうばん状
 足状



ヨシノボリのなかま
 カジカ



全長約 10cm(成魚)



全長約 15cm(成魚)

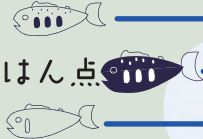
背中へのヒレは

一番後ろのヒレにはスジがない
 全てのヒレにスジがある

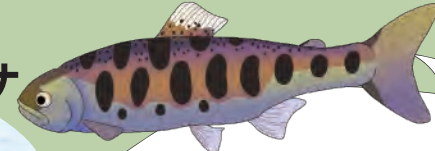


お腹のわきの模様が

黒いはん点
 白っぽいはん点
 はん点無し



ヤマメ
 ニッコウイワナ
 アユ



全長約 20-30cm(成魚)

ヤマメ

ヤマメは、水が冷たく綺麗な川にしか住めない渓流魚です。桜色の体に「パーマーク」と呼ばれる黒い斑点が特徴。奥多摩の養魚場では、野生のものより大きくなる「奥多摩ヤマメ」が飼われています。

体の表面が

ヌメヌメしている
 ヌメリはない

外来種

タカハヤ



全長約 10cm(成魚)

口の大きさが

目下に達する程大きい
 目より手前までと小さい

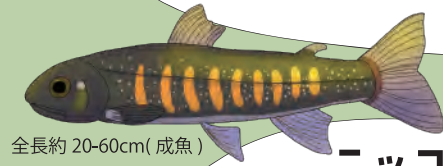


外来種

オオクチバス



全長約 30-50cm(成魚)



全長約 20-60cm(成魚)

ニッコウイワナ

ヤマメより更に冷たい水にしか住むことのできない渓流魚。水温 20℃で生息が難しく、奥多摩の川でも水温が上がってしまうと近い未来姿を消してしまうかもしれません。

ヒゲが

ある
 ない

外来種

コイ
 ウグイ



全長約 80cm(成魚)



全長約 35cm(成魚)

アユ

えらの周りの黄色の模様が特徴。奥多摩のような上流にも見られますが、温かい河口付近も大好き。コケを食べた個体はキュウリの匂いがするとか？



全長約 10-25cm(成魚)

魚をさがしてみよう！

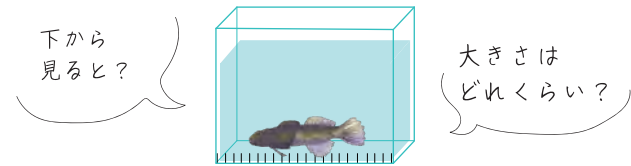
「ガサガサ」をしてみよう

用意するもの：たも網、長靴（胴長）、ライフジャケット、観察ケース

- ①魚が隠れていそうな、大きな石を見つける
- ②石より下流側にたも網を固定し、石をひっくり返したり、上流側から足でガサガサして追い込む。



- ③素早く網を上げ、観察ケースに入れ、観察してみましょう。



魚さがしの注意事項

泳がない

奥多摩の川で事故が頻発しています。すねより深い場所には行かないようにしましょう。

観察したら、逃がしてね

奥多摩は国立公園。生きものを捕ってはいけない場所もあります。観察後は、生き物を元の場所に逃がしてください。

ルールを確認

魚を捕る場所や方法によっては遊漁券や免許が必要な場合があります。捕る魚種によっても必要な遊漁券が異なるため、注意が必要です。

ルール確認はこちら↓
東京都産業労働局 HP



魚を支える、寄生虫？

京都府の研究で、ヤマメ等の溪流魚がバッタの仲間、カマドウマを食べていることが分かりました。陸の昆虫が、なぜ川の魚に？

鍵を握るのは、寄生虫ハリガネムシ。カマドウマに寄生し、産卵のため川の中へ飛び込ませます。溪流魚は、ハリガネムシに操られて飛び込んできたカマドウマを食べていたのです。

カマドウマが飛び込むのは3ヵ月間だけですが、年に溪流魚が得るエネルギーの約6割がカマドウマ由来でした！ハリガネムシがない場合、溪流魚は水生昆虫を食べました。水生昆虫が減ると落ち葉の破碎速度が落ち、結果、川が汚れてしまいました。奥多摩にも同じ生き物がいますので、同じことが起こっているのかも。美しい多摩川を保つ意外なキーパーソンは、寄生虫ハリガネムシ？どんな生きものも掛け替えのない存在なのです。

参考：Sato, T., Watanabe, K., Kanaiwa, M., Niizuma, Y., Harada, Y., & Lafferty, K. D. (2011). Nematomorph parasites drive energy flow through a riparian ecosystem. Ecology, 92, 201–207.



溪流魚のすめる川も、いつまでも

溪流魚の多くは、清く冷たい川にしか棲めません。しかし、最近の多摩川には困りごとが…

広葉樹の森が減ると
木陰が減って水温上昇
保水されず水量不安定に！



ゴミが増えると
川の水が汚れて
魚が酸欠に



魚の名前が分かり、関心を持てば、環境が気になってくるかも。あなたが奥多摩の魚を知ることが、奥多摩の川が豊かに保たれる助けになるかもしれません。

第137号 奥多摩ビジターセンターセルフガイド



奥多摩で出会える魚を調べよう



奥多摩ビジターセンター

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 171-1

TEL : 0428-83-2037 URL : <https://www.ces-net.jp/okutamavc/>

指定管理者：(株)自然教育研究センター(略称CES)